

活動名称 (40字以内)	北海道の遺跡博物館における学芸員体験と冬のオホーツク文化体験		
団体名等	大学院人文社会系研究科 附属北海文化研究 常呂実習施設		
活動区分	<input type="checkbox"/> ボランティアなどの社会貢献活動	選考方法	<input type="checkbox"/> 先着順
	<input type="checkbox"/> 国際交流体験活動		<input checked="" type="checkbox"/> 書類審査
	<input type="checkbox"/> 就労体験活動	募集人数	<input type="checkbox"/> 面接
	<input type="checkbox"/> 農林水産業・地域体験活動		1 人
	<input checked="" type="checkbox"/> フィールドワーク体験活動		
<input type="checkbox"/> 研究室体験活動			
参加資格等	学部学生		
活動期間	2020/2/17(月) ~ 2020/2/20(木)	主な活動場所	常呂実習施設、北見市ところ遺跡の森 (北海道北見市常呂町栄浦)
	4 日間		
目的	北海道の遺跡博物館における学芸員活動の体験を通じて、地域固有の歴史遺産や民族文化の価値を体得するとともに、大学の地域貢献について実践的に学ぶ。		
具体的な内容 (800字程度)	<p>常呂実習施設は、北海道北見市に設置された人文社会系研究科・文学部の附属施設であり、北東アジア考古学を中心とした研究と、考古学実習や博物館学実習などの教育を行っている。加えて、地域との連携にも積極的に取り組んでおり、施設に隣接して設置された北見市の史跡博物館「ところ遺跡の森」と一体となって活動し、地域の社会教育にも貢献している。</p> <p>この体験活動プログラムでは、常呂実習施設と「ところ遺跡の森」において博物館学芸員の活動を体験することによって、地域の歴史遺産や民族文化の価値を体得するとともに、大学と地域が一体となった研究教育活動のあり方について体験的に学ぶ。また、このプログラムの実施期間は、施設の位置するオホーツク海沿岸に流水が訪れる観光シーズンであることから、自然や観光資源に触れながら地域特有の文化を体験し、現在の地域が抱える様々な課題について考える機会も提供する。</p> <p>受講者は施設に併設された学生宿舎に宿泊しながら、体験活動に従事する。活動の具体的な内容としては、見学者に対する展示解説や体験講座の講師など、地域の博物館学芸員がおこなう社会教育活動の体験、展示パネル掲示などの実技体験、資料の収集や整理などの研究活動体験、近隣の博物館の巡検等を予定している。</p>		
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・女満別空港にて集合・解散。空港から施設までは、施設の車で送迎する。 ・宿泊は施設附属の学生宿舎で、自炊。 ・集合・解散の時刻、宿泊の手続き等は受講者決定後、施設から各受講者に連絡しますので、その後、各自で航空便などを予約してください。 		
参加するための費用*	内 訳(1名当たり)	その他*特記事項は以下に記載	
	交通費 23,000 円程度 宿泊費 無料 円 (教材費) 150 円 (食費) 実費 円 計 23,150 円	交通費は航空便(羽田-女満別)往復料金を想定して算出。	
		奨励金額	17,500 円
ウェブサイト等	常呂実習施設: http://www.lu-tokyo.ac.jp/tokoro/index.html 北見市「ところ遺跡の森」: http://www.city.kitami.lg.jp/docs/7209/		